

おたる自然の村市民体験農園協議会

【小樽市】

はじまりは？

まだ市民農園整備促進法が施行されていない昭和60年、市民が土に親しみ、作物を栽培する喜びを通じて、農業への理解と農村集落との交流を深めようと、道内の市民農園の先駆として開設しました。

市民体験農園のほか、掘り取りもぎ取り農園、農産物の受託販売、自然の村の学童農園の管理などの活動を行っています。近年では、農業者の情報交換や交流の場としてグリーンツーリズムの中心的施設としての役割も担っています。



開園式後の様子

おもな活動



8月頃の農園の様子

農園の運営は、農園利用方式により、市民や団体向けに家庭農園300区画、じゃがいも掘り取り及びとうもろこしのもぎ取り農園を各100区画を用意し、畑起こしなどを行うほか、散水用の水タンクや送迎バスも用意され、野菜の種まきから収穫までを体験できるよう提案しています。

農園の利用は5月下旬の開園式に始まり、7月上旬の栽培技術相談会、8月には直売所を開設、9月には収穫まつりや品評会、掘り取り、もぎとり農園開設と続き、農村地域に都市住民との交流の機会を設け、市民の農業への理解を深めて、地元農産物の消費拡大に結びつくよう期待されるとともに、高齢者の生きがいつくりや児童の教育にも大きな期待が寄せられています。

ここが自慢

【新鮮野菜を格安提供】

実りの秋を迎えると毎週日曜日には農園入口で「農産物直売所」が開かれて人気となります。午前7時の開店前から採れたての野菜を求め、多くの市民が行列をつくり、市価より2、3割安く買えるトマトやじゃがいも、とうもろこし、かぼちゃなどを買い求めています。



品評会での審査の様子

データ

■代表者:若林 金吾さん／設立:1985年／会員:12名

■連絡先:小樽市 天狗山1丁目 国有林野4152林班 一般財団法人おたる自然の村公社

■電話:0134-25-1701

■FAX:0134-25-8120

■HP:<http://shizennomura.com/>